

銀漢亭日録

伊藤伊那男



8月4日(木)▼十七時 神保町「雷門 き介」。米国の青柳フエイさん帰国中で、天為の方々の仲間に誘っていただき歓迎会に参加。あと「魚勝」。

7日(日)▼午後、浅草「神谷バー」。ロスの青柳フエイさんを「駒形どぜう」に案内。あと「ときわ食堂」。あと新宿、思い出横丁と、九半日飲み歩く。

9日(火)▼「子規顕彰全国俳句大会」の選送る。約八千句にて、流石に延べ四日程かかる。伊勢の河合真如先生より「銀漢俳句会」に高額の基金頂戴したと。恐縮。夜、発行所にて「火の会」、九人。

10日(水)▼俳人協会岡山県支部俳句大会の選。応募句八百余句。

12日(金)▼「馬酔木」同人評三回目。五千字ほど。ヘアメイクの川さんきて短くカットして貰う。

13日(土)▼台風来。「三丁目の夕日」の「昭和の歳時記」エッセイ一本。

16日(火)▼「銀漢」の選句続く。柴山つぐ子さん句集の二度目の選句など。羽黒山三光院の粕谷様より、だだ茶豆到来。

21日(日)▼十一時半、日暮里「夕焼け酒場」。清人さんと仕込み。政三さんの住む「富士見ホテル」がいよいよ取り壊しとて、前の広場でサヨナラパーティー。刺身、寿司。くさやを八枚ほど焼く。「富」「土」「見」で三句出し句会。結局二十一時位まで歓談。二十数名か。

22・23日(月・火)▼「銀漢」十月号、各結社句会の選句など。農家の野菜買いに出た他は部屋に籠り切り。

去とて、「春耕」へ追悼文。夜、家族の友人のあゆちゃん、杏一家が来る。あゆちゃんは肉を食べないので、清人さんから到来のキハダ鰯半身を刺身、胡麻和え、三つ葉和え。いんげんの胡麻浸し、糠漬けの茗荷、胡瓜の梅肉和えなどでもてなす。

3日(土)▼「三丁目の夕日」の「昭和の歳時記」エッセイ送る。あ・ん・ど・うくりニック。「銀漢」十月号の校正。岩波文庫「井月句集」読み直し。

4日(日)▼「一茶と井月」についての講演会内容詰める。若井さんの茄子再度到来。十五個程焼きなすにしてストック。婦恋村からの夕顔煮る。

5日(月)▼一茶・井月の講演資料まとめる。松山の子規の俳句大会、二重投句や類句取消しなどあり、二度目の調整。調布の講話の杉田久女について調べに入る。

6日(火)▼十二時、発行所。「神保町に銀漢亭があったころ」の校正会議。武田編集長、洋征、秋葉男、悦子さん。途中から堀切君が加わり、たつぷり五時間。あと武田、洋征さんと近くの餃子屋で歓談。別れて「魚勝」で一杯。

7日(水)▼杉田久女についての資料渉猟。作句。

9日(金)▼九時三十五分、新宿バスタ発高速バスにて伊那へ。十三時着。喫茶店「門」にて小休止。高校生の頃から変わらない店。「井月生誕二百年祭 井月さんまつり」にて、一茶と井月の講演。仙醸酒造の黒河内靖会長(ゼミの先輩)が会いに来て下さる。あと「角八」にて親睦会。北村監督、平沢事務局長、小澤實、相子知恵、西村麒麟さん。「銀漢」は大野田、政三、まほ、有賀理さん。北澤一伯さんも来てくれる。泊りは「伊那パークホテル」。あと、井蛙さんの同級生経営のスナック「パートナー」。十

24日(水)▼朝、清人さん、焼津港に入った鮪漁船から入手の鮪を裾分けに寄ってくれる。今日はカマを焼くか。

26日(金)▼午後、家族揃って庭で食事会。牛舌、ハラミなど焼く。野菜料理何種類か作る。「銀漢」十月号の選句その他、全部終了して一段落。

27日(土)▼小林一茶について各種本調べる。九月の伊那の講演会用。このところ、到来の茗荷毎食。夕顔汁も。

29日(月)▼昨日より家族は、数日鎌倉で夏休みと。昨日清人さんより連絡あり、今日、盤水先生の忌日と。昨年一緒に墓参し、今年も、と約束していたが、危うく失念するところであった。十三時、高幡不動に行く和大和さんも来ていて、ばったり会う。三人で墓参。うどん店で小酌。といっても昼酒は効く。別れて仙川でまた……。

30日(火)▼十九時、日暮里「スナック雪月花」。天為の小石さんがママ。相沢文子さん誕生日とてケーキ持参す。スペインのカバで乾杯。(ヴーヴクリコは二年前五千円位だったものが、現在一万二千円の高値にて買えない……)

31日(水)▼「神保町に銀漢亭があったころ」の一回目校正。三百六十頁あり、一日かがり。懐かしく読む。帰宅後、岩波文庫「一茶俳句集」読む。

9月1日(木)▼午後、手が空いたので初めて赤羽に行ってみる。昼ながあちこち酒場が開いていて、二軒ほど歩く。あと新宿にもつつい寄ってしまう。歌舞伎町の「もつ焼きカミヤ」は三十年振りか。店の様子はほとんど変わっておらず、ガツ刺などの味も佳。

2日(金)▼「足立区俳句連盟」へエッセイ一本送る。山田春生氏逝

二時過ぎ。

10日(土)▼快晴。「かんでんばガーデン」散策。グリーンファームにて茸の塩漬け他購入。美鷲から高遠をドライブ。午後、「いなっせ」の「井月さんまつり」に参加。小澤實さんの講演など。終って飯田線で辰野。鯉料理の「鯉店小坂」へ。洗い、鯉こく、旨煮、鰻の白焼でこの町の酒「夜明け前」。折しも名月の日。辰野駅で電車を待つ間、また車窓からもじっくり楽しむ。伊那へ戻ってまた「パートナー」。小鮒の煮付け、栗の渋皮煮など佳。今日は興が乗ってカラオケ……また……。

11日(日)▼伊那市主催の「井月俳句大会」(事前投句は選)は参加を失礼して、飯田線で飯島町へ。沿線懐かしい風景。伊那市駅と飯田駅だけに駅員がいて、あとは無人駅になってしまった。飯島陣屋(復元建物)を訪ね、一時間ほど見学。町で開いているのはラーメン店一軒のみ。冷やし中華の朝昼兼用の食事。一時間以上駅で飯田線を待つ。十五時過ぎ、伊那に戻り「門」にてビール!塩烏賊と胡瓜、小鮒煮など。酒(夜明け前)。井蛙さん合流。急ぐ旅ではないし、もう一泊しようという事になる。「高遠句会」の守屋明、坂下昭、福沢(旧松浦)さんに連絡。「羅針盤」という居酒屋で歓談。あともう一軒。水争いの歴史や焼餅祭の話など面白く聞く。

12日(月)▼快晴。九時退出。高遠句会の坂下昭さんの家訪問。井月の直筆句を拝見。父上の本。岳父氏の句集戴く。南瓜、じゃが芋、薩摩芋戴く。近くの同期福沢さん(旧松浦)訪問。茗荷、モロヘイヤ、胡瓜、オクラなど戴く。高遠に出て「高遠そば ますや」で久々、高遠蕎麦三種。佳。家まで井蛙さんに送って貰う。実にいい旅。色々な方に感謝!